



よこはま プロバス通信

情報委員会・編集委員

No32 2021年10月発行

<http://yokohama1probus.web.fc2.com/TR3.html>

ユーチューブチャンネル purobusyokohama

発行所:事務局内

横浜市金沢区並木3-3-10-204

松下方 045-784-6549

追悼 特集



中村 實(まこと)様(横濱プロバス倶楽部第15代会長、全日本プロバス協議会第4代会長を歴任)

令和3年7月14日(享年86歳)ご逝去されました、ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。中村實様は横濱プロバス倶楽部の発展にご尽力され、全日本プロバス協議会では全国を行脚して、全日本プロバス協議会の在りようを思索され、その基盤を築かれました。

中村實様宅を弔問

会長 加藤道子

コロナの蔓延で、横濱プロバス倶楽部例会が昨年の春頃から滞っておりますが、理事会は開催しております。

こうした中、当倶楽部会員の中村實様が令和3年7月14日にお亡くなりになりました。生前は全日本プロバス協議会の会長として活動して下さいました。また、プロバスの旅行先では、名所で立ち止まり歴史のお話を切れることなくして下さいました。今はなつかしい思い出です。

8月28日、森山功様、松下尚雄様、岩城孝子様と今年度会長になりました加藤道子の4人で亡き中村實様のお宅に伺いました。4人で仏壇のお写真に手を合わせ霊牌に御参りして来ました。



中村夫人(右)と加藤道子会長

奥様は現在もボランティア活動をしていて、とても素敵なお方でした。

1年ぶりの例会開催を迎えて

幹事 神谷恒夫



神谷恒夫幹事

最初、コロナと聞いた時思い浮かんだのは、「太陽の光の環」そして「車の名前」ぐらいでしたが、それが何とウィルスとは。当初はそれほど長引くこともなく短期間で終息するものと高を括っていたところ、トンデモナイ!!これほど長い間休会を余儀なくされるとは思いもよ

りませんでした。その後、数回の非常事態宣言を経て、またワクチンの効果もありようやく先に明かりが見えてきたことから、9月の理事会で非常事態宣言解除を前提に昨年11月以来1年ぶりの例会を開催することとなりました。会員の皆さまもこの間は外出、会食もままならず、さまざまな思いで過ごされてきたことと存じます。このような中で元会長の中村實会員の訃報に接し、もう先生とはお会いできなくなりました。

これからの例会は今までのような自由な歓談、会食、そしてイベントの開催は難しいかもしれませんが、ウィズコロナの時代を迎え、皆さまのお知恵を拝借しながら工夫をして、楽しくそして心に残る例会にして参りたいと思っております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

活動報告(7月~9月)

新体制(加藤道子会長)になってからの活動報告です。

7月、8月、9月各月理事会を開催。6月に新理事に引継ぎ終了し、7月から新役員による理事会をスタート。例会は、緊急事態宣言中のため9月まで休会継続となった。

* 中村實元会長葬儀には、会を代

表して森山氏が参列。その後、加藤会長ほか3名が故人宅を弔問した。

* 20周年記念行事は取り止め決定。記念誌は、松下、森山、関口、神谷、荻原が担当委員となって作成することとなった。

* 米寿、卒寿祝いを満年齢で来年月から実施する(お祝い金1万円、遡及実施)。

* 誕生祝は、ショッピングバッグを購入。10月以降贈呈する。

訃報

青木伊平様が令和3年10月1日お亡くなりになりました。ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともにご冥福をお祈り申し上げます。青木様は当倶楽部の発展のみならず全日本プロバス協議会の理事を6年間務め故加藤武会長、故中村会長を支え全国を行脚して多大な貢献を頂きました。青木様の追悼は次号にて掲載いたします。

準備万端の永久の旅立ち

会員 荻原信吾



2008年秋、加藤武元会長（横浜市役所先輩）の紹介により私が当倶楽部に入会した際、中村先輩から早速、にこやかに歓迎の握手をして頂いたことをつい先日のように思い出します。

そして、中村先輩は「実は私も加藤武さんから入会を誘われたのですよ。この倶楽部の特別放談講師を頼まれ、講演終了時にそのまま入会して下さいとお願いされたのです。」ということ、「あれよあれよという間に会員になっていた」と何度かお話しされてい

ました。故中村会長は如蘭会（日比谷高校同窓会）の先輩で、横浜如蘭会事務局長をされていた40数年前からお世話になっていた方です。縁あって横濱プロバス倶楽部でさらにお世話になることになりました。

故加藤武元会長は、学識経験豊富で人格高潔な中村實さんに入会していただき、当倶楽部のレベルアップを図るため、かなり強引に入会勧誘したと話していました。そして、2014年秋、横浜で開催された全日本プロバス協議会総会で前年に急逝された加藤武会長の後任会長として就任され、2019年に北九州の古賀会長に引き継ぐまで活躍されました。

先輩は常に謙虚で、皆さんのお陰でこの役割ができていと感謝の姿勢で

一貫していました。そしてまた、その博識さは皆さん周知のことで、各地のプロバスの会合の挨拶でも、地元の方も驚くような新鮮で知られざるエピソードの数々を披露されました。（地元横濱・中華街の散策会も自ら案内役をされたことを思い出します）

ここ数年前から、墓所閉いをされ、また書籍や書類などの整理を進めているとのことで、「そろそろお迎えがくる年なので準備をしている」と話されていました。当会にとっては、誠に残念な方を亡くしましたが、ご本人は旅立ちの準備怠りなく身辺整理もして旅立ち、我々を彼岸で待っておられることと思います。ではまた、あちらでお会いしましょう。

戒名：釈真實居士 合掌

敬愛する大先輩

全日本プロバス協議会理事

岩城孝子



つねにゆく道とはかねて知りながら昨日今日とは思はざりしを（在原業平）

中村先生のご霊前に立って なんとという悲しい出来事であ

りましょう。

先生は、私にとって倶楽部の皆様にとって最も敬愛する大先輩でありました。プロバスでの出会い、ありがたい恩でありました。書籍に囲まれた先生の温かい慈愛に満ちたお写真、その横で昨秋、日本赤十字社からの社会貢献賞に輝かれた奥様、気丈にもここにここと明るい笑顔でお会いしていただき、私達お参りしている加藤会長、森山さん、松下さん、岩城の4人を逆に元気づけ、力づけていただきました。

奥様から「主人は皆様のご厚意に感

謝しながら、天寿を全うし、晴れ晴れとした姿で旅立ちました」とのお言葉。先生 どうぞ安らかに眠り下さいませ、先生 さようなら ありがとうございます 合掌。

永遠の旅路よ安らかに

会員 小野寺あい子

昨年の1月定例会では、先生に近い座席でありました。チョコレートを今年も戴けるの？と笑顔を向けられました。



私はメッセージ付きでない駄目ですか？と返答したら、名前だけでいいよ！とおっしゃるではありませんか。他の会員もやりとりユーモアを感じたのか、そこまで言われたら送らないわけにいかないよなァ、どっと笑いが起きました。その頃、私は関節系の痛みから上腕部も侵され文字が書けなくなっていました。品物の用意は出来ても、案の定

メッセージを添えられず或る日の早朝、ありがたい先生のお声に恐縮しきりとなりました。幼少時からおやつにしていたようで、戦後の混乱期にも恵まれた環境が推察されました。私は山形県の田舎で、チョコレートを見ることもなく、「浜のアバ」と呼ばれる行商のおばさんが売りに歩く駄菓子が楽しみでありました。コロナのさなか、先生の訃報に接し、今年はチョコレートの季節にお送りできず後悔されました。私は、入院手術を目前に控えていたので、気が回らなかったのです。先生！いつも穏やかで思慮深く、やさしい語り口も魅力でありました。それでいて「おかしみ」が込み上げる場面がございました。おかしみと言うのは、誰もが持ち合わせているのでもなく、人間の深みと言うのか内面に哀歎と切ない蔭りが文筆活動で磨かれ瞬時に行動や表情に表現されるのであると思いました。

もっと多くの知識を授けて欲しかったと先生を偲び瞑目しております。合掌

熊野古道を訪問（2018年11月）



全日本プロバス協議会会長を退任され「ご苦労様でした」



2015年6月総会

横浜銀行の大先輩

会員 持田久次

中村 實氏は横浜銀行時代に一緒に仕事をしたことはなかったのですが、私よりもはるかに大先輩で名前

は存じ上げておりました。

私が横浜プロバス倶楽部に入会した時には既にいらっしやられて、例会時等でお会いするたびに必ず

声をかけて下さいました。

又、横浜銀行のOB会である「浜銀行友会総会」が年一回開催されるので

すが、こちらでも、お会いすると必ず声をかけて下さいました。

次に今まで横浜プロバス倶楽部で活動してきた中で、中村 實氏との思い出を披露したいと思います。

2015年5月21日(木)の横浜プロバス倶楽部15周年記念旅行での出来事です。

それは、谷川岳ロープウェイに乗り天神平駅で下車してリフトに乗り、天神峠駅で下車して記念写真を撮影するところまで中村實氏と歩いているときの会話ですが、私の兄が昭和46年6月に谷川岳で遭難したことをお話しすると驚かれた様子だったことを今でも私は鮮明に覚えておりま

す。

最後になりますが、中村實氏のご冥福をお祈り申し上げたいと存じます。合掌。



2015年5月15周年記念旅行(谷川岳で)

浜っ子の風格

全国プロバス協議会顧問 森山 功

6月突然中村先生の奥様からお電話「實(まこと)～もうダメかも一度

会っていただけませんか?」とのことで入院先の幡ヶ谷の回心堂病院に駆け付けた。コロナ禍のため、手を握ることも話を交わすことも出来ない、病室の入り口で手を振るだけの3分間。それでも、色つやも良くふっくらとしたお顔に安堵したものです。奥様からの話では「本年1月

食事が喉を通らなくなり、入院。レビー症候群との診断で点滴だけで生を繋いでいる」とのことでした。7月14日逝去の知らせ。7月20日告別式。告別式では全日本プロバス協議

会会長古賀様はじめ多くの皆様からの心温まる弔電、弔意が披露されました。

先生は生粋の浜っ子で日比谷高校、慶應義塾大学、横浜銀行と進まれ、銀行でも産業文化財団など文化交流に尽力され自他ともに「銀行マンらしからぬ銀行マン」と認められていました。また、関東学院大学など十指にあまる大学で教鞭をとり、鉄道少年団の団長なども務められました。

横浜プロバス倶楽部でも例会、親睦旅行や近隣クラブとの交流など率先して参加し、ある時は旅先で講師役も務めて頂きました。

全日本プロバス協議会では2014年から4年間会長職を務め、その間私は幹事長として行動を共に致しました。北は北海道・旭川から南は九

州・鹿児島まで周年行事やお招き頂いたクラブにはすべて足を運ばれました。開催地の市役所、県庁の広報課に赴き、その地の文化、歴史、地理などを勉強され「役所の広報課には埋もれた素材がたくさんある」とも教えて頂きました。研究熱心で平らかな目線でものを洞察されていたように思います。金銭にも恬淡としておられました。銀座でも関内でも有名店をよくご存じのグルメ通でしたが、どんな居酒屋でも皆と談笑され文字通りこの世を存分に楽しまれた人生だったと思います。納棺の時は半眼半口のうっすらと紅を刺したようなお顔を押しながらお別れの棺を閉じました。

「一度も入院したことがない」と言われていた先生、そのたった一度の入院が永久のお別れとなりました。



2016年4月移動例会でアサヒビール神奈川工場を見学(左端)



青森県五所川原プロバスクラブとの交流会で十三湖を訪問(後列左5人目)

中村会長の思い出

事務局長 松下尚雄

中村實先生は、今年、奥様（慈子・ヤスコ様）とお二人で、世界一周する船旅を計画しておられたとお聞きしておりました。さぞかしご無念（残念）でございましたでしょう。

難病の一つとされるパーキンソン病と肺炎併発し、2021年7月14日（享年86歳）で永眠されました。

先生は、私の慶應義塾大学での大先輩で、横濱プロバス倶楽部の先達でもあり、ご縁が深く大変お世話になりました。そして、全日本プロバス協議会長（二期4年）



大学・関東学院大学・神奈川県立保健福祉大学・千葉商科大学・東北学院大学等で教授・講師等を歴任されました。銀行時代の経験から苗字アナリストでもあり、当倶楽部での講演会で、日本の苗字を会員皆で頭を捻りながら楽しくお聞きした思い出があります。JR鉄道少年団の団長もされて、大

変お忙しい毎日を送られておりま

クラブをかけました。又、著書では「福沢諭吉と横浜・神奈川」「私のおもしろ年賀状」

「おもしろ交通論」他多数の単行本を出版されました。

横浜銀行定年後は、横浜市立あの優しい顔がもう見られないとは、未だに信じられません。思い出・悲しみは尽きません。そして、プロバス倶楽部の歩みに全力を注ぎ、最後まで思いを寄せた先生には感謝のお礼を送り、心より哀悼の意を込めて、合掌！！

◇事務局 事務局長 松下尚雄

メール；tadd.0126@nifty.com

携帯；090-1551-0096

理事会報告（情報委員長補佐 荻原）

1. 開催日時；9月17日（火）12：00～13：30
2. 会場；YBS南幸ビル9階ホール
3. 参加者：加藤（道）内山 神谷 鈴木（国） 大久保 松下 宮川 岩城（オブザーバー）森山 荻原 加藤（豊） 以上11名
欠席者：関口 平野
4. 報告事項（今後の予定等）
例会委員会（大久保委員長）

10月8日（金）例会：開催決定

緊急事態宣言解除の場合、蔓延防止措置移行でも開催する

会員委員会（鈴木委員長）誕生祝品はショッピングバッグを購入

情報委員会（荻原委員長補佐）：8月ホームページは関口委員長が作成。プロバス通信32号（10月発行）を中村實元会長追悼特集として作成

参遊会 ゴルフ同好会9月6日に開催（次回11月15日）

5. 協議事項 進行は神谷幹事

※ 新入会の候補者（加藤豊会員紹介：前田克実氏）の入会承認。10月入会予定

※ 全日本プロバス協議会報告（森山・岩城）

6. 事務局報告

* 全日本プロバス協議会総会は書面評決で役員人事を決定（古賀会長等ほぼ全員留任）

* 会員近況報告（事務局への連絡分）

7. その他

内山副会長から

10月例会終了後、新Aグループ会合を開

催して各副委員長（次期委員長）を決定し、11月例会にて紹介する。

● ゴルフ同好会報告

9月6日 太平洋クラブ相模コースにて10名参加し第31回ゴルフコンペを開催しました。コロナ禍ですが、会場はそこそこの賑わいでした。今回も、世話人

加藤豊、持田、関口3氏のリードにより感染防止に努め、和気あいあいで楽しみました。

優勝は、神谷氏、2位は新人前田氏（10月入会予定）、3位加藤豊氏でした。次回は11月15日（大秦野CC）を予定しています。



編集後記



▲通信の発行のお手伝いができなくて申し訳ありません。不覚ながら入院してしまいました。中村先生のご逝去は誠に残念です。穏やかで、物知りで、尊敬できる大先輩でした。私みたいなものにも、お会いするたびに「飛んでいま

すか」って声をかけてくれる優しさ、毎年一千通の年賀状を郵便局にお酒を持って取りに

行く方だったのです。

（情報委員長 関口尚親）

▲関口情報委員長が9月末に入院されたので森山氏のご支援の下、小生が編集を担当しました。中村元会長追悼文を多くの方からお寄せ頂き、改めてお礼申し上げます。

例会が10月から久々に再開されましたが、コロナはまだ収束しそうもありませんのでプロバス通信を会員間の情報共有に引き続き役立てていきたいと思っています。

（情報委員長補佐荻原信吾）